

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
片岡物産宇治工場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版
■評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q1 室内環境			0.30					3.0
1 音環境			3.0					3.0
1.1 騒音		3.0	0.15					
1 1 騒音レベル		3.0	0.40					
1 2 騒音対策		3.0	1.00					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境			2.8					2.8
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 1 室温設定		3.0	0.38					
3 3 外皮性能		3.0	0.25					
4 4 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		2.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境			3.1					3.1
3.1 昼光利用		3.4	0.25					
1 1 昼光率		3.0	0.60					
2 2 方位別開口		4.0	0.40					
3 3 昼光利用設備	エントランスホールにハイサイドライト設置	3.0	0.30					
3.2 グレア対策		3.0	1.00					
2 2 昼光制御		3.0	0.15					
3.3 照度		3.0	1.00					
1 1 照度		3.0	0.25					
3.4 照明制御		4.0	0.25					
4 空気質環境			4.0					4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 1 化学汚染物質	内装建築材料にはF☆☆☆☆の建材を全面的に採用	5.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 1 換気量		3.0	0.33					
2 2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 2 喫煙の制御		3.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.2
1 機能性			3.4					3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60					
1 1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33					
3 3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40					
1 1 広さ感・景観		3.0	0.33					
2 2 リフレッシュスペース	喫煙室、談話コーナー、自動販売機を設置	5.0	0.33					
3 3 内装計画	インテリアパースによる内装計画・照明計画を事前検証	4.0	0.33					
1.3 維持管理								
1 1 維持管理に配慮した設計								
2 2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性			3.1					3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 1 耐震性		3.0	0.80					
2 2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33					
1 1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
3 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	内装の更新周期18年	4.0	0.09					
4 4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトはガルバニウム鋼板	5.0	0.08					
5 5 空調・給排水配管の更新必要間隔	VPを主用途に使用	4.0	0.15					
6 6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			3.0	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.3	0.29			3.3
3.1 空間のゆとり			3.8	0.31			
1	階高のゆとり		3.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.04<1.0	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.2	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース	受変電設備および空調室外機の設置スペースを確保	4.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				0.40			2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	緑地面積率25.15%を確保し、暑熱環境を緩和	4.0	0.50			
LR1 エネルギー				0.40			3.8
1 建物の熱負荷抑制							3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		初期照度補正、人感センサー制御採用 ERR=39.7	5.0	0.43			5.0
4 効率的運用			3.0	0.29			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.3
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1 節水		節水コマ、節水器具の採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.63			3.2
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	グリーン調達実施5品目(設計段階)	4.0	0.21			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22			3.8
3.1 有害物質を含まない材料の使用		対象建材:接着剤、シーリング材、塗料、塗リ床材等9品目	5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68			
1	消火剤	ハロン消火剤なし	4.0	0.33			
2	断熱材		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境				0.30			3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率87%	4.0	0.33			4.0
2 地域環境への配慮			3.6	0.33			3.6
2.1 大気汚染防止		全電化仕様	5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	敷地内駐車台数51台、トラックヤード・待機エリアを確保	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制	屋内ゴミ置場を設置し、分別回収を計画	4.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策がドライランのフェクリットの過半に準拠、屋外広告塔なし	5.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			